

できる・できる・できる

申 校訓：「自主・友愛・飛躍」

令和5年11月7日
No. 43 (第171号)
長崎市立戸町中学校

文責 校長 大橋 功

<https://www.nagasaki-city.ed.jp/tomachi-j/>

確かな学力の定着と向上を目指して！

以前お伝えしましたが、本校では、研究主題「学力の向上を目指した授業展開の工夫 ～ICT 機器の効果的な活用を考えた授業改善を目指して～」のもと、研究推進を実施しています。



10月末に、前田 幸司 先生による1年生理科と、本多 淑恵 先生による3年生数学科の研究授業を実施しました。

まず、理科の授業では、「光の直進性」を光源とホースを使って見だし、さらに、ピンホールカメラを使って左右が反対に見える現象を予想し、実験によって証明していきます。前時の授業を参考にしながら、実証していくまでの過程は、まさに、自ら考え判



隙間時間も無駄にしない！



いよいよ期末テスト1週間前となりました。本日から14日(火)までは、部活動も中止となります。これまで、特に、テスト前には、学年学級を通じ繰り返し「1点向上にこだわる。」を伝え続け、取り組んできました。現在も「学力向上強化期間」と命名し、1・2年生は放課後に自学スペース以外にミナカミ教室を開放し、3年生は各自の教室を使って、テスト勉強を取組んでいます。教科担任に質問する生徒や友達間で教え合う姿も見られます。これまでとは違う、固い決意でとにかく点数にこだわりやるしかない！(〇〇)

断し、根拠を明確する姿が見られました。

また、数学科の授業では、一定の速さで走る花子さんが地点Aを通過した瞬間に、たくやさんが花子さんに給水ボトルを渡すために、地点Aから自転車で同じ方向に走り出し、花子さんに追いつくまでの時間を求めるという「関数」の学習です。距離・速さ・時間の関係を式・表・グラフを使い明らかにしていきます。

二つの授業に共通する点は、個々で思考する場面、班や近隣と意見や考えを交わす等の「シンキングタイム」で、自身の考えはもとより、他者の考えも参考に修正していくことです。また、Chromebookも活用する場面もありました。まさに、生徒が主役の「主体的・対話的で深い学び」に繋がる展開でした。

我々、教師の指導のあり方も「Teaching」から「Coaching」へ移行し、生徒主導による「個別最適な学び」や「協働的な学び」が求められ、その効果的な手法の一つには、GIGAスクール構想(一人一台端末)もあげられます。

今後も生徒たちの確かな学力の向上と定着を目指し、他の先生方の研究授業が計画されています。



心の種

今回のテーマは「自分たちの手で！」です。

生徒会や専門部活動の取組みには、いつも感心させられます。戸町中を自分たちの手で楽しい学校、明るい学校、安全・安心な学校にしようと、奮闘する姿が見られます。



与えてもらうだけではなく、生徒たちの行動による“参画意識”がポイントといえます。我々大人になり発想と実践力を活かし活躍する姿に、心から大きな拍手を送ります。そして、現在、先輩方の意思を受け継ぎ、バージョンアップさせるべく、新たな組織への取組みがなされようとしています。

写真で見る学校と生徒の様子エトセトラ(10月編)

